

OBM マンスリー

2019.2月号 Vol.226

2019年2月25日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F
TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145
Eメール info@obm.or.jp
ホームページ www.obm.or.jp



わが社の **イチオシ!**

近建ビル管理株式会社

「京都高齢者あんしんサポート企業」としての取り組み

弊社は昭和46年の設立以来、京都を中心とした建物を管理させていただくビルメンテナンス会社として、施設を利用されるすべての人々へ快適で創造的な空間を提供出来るように取り組んでまいりました。

弊社が管理させていただいている業務には「団地内清掃」があります。昨今、どの団地も高齢者居住率が高く、仕事中に高齢者の方と接する機会が多くなっています。そのため、「京都高齢者あんしんサポート企業」として企業登録し、高齢者への対応と認知症について学び、高齢者・認知症の方々が安心して暮らせる地域作りに取り組んでいます。

1. 京都高齢者あんしんサポート企業の養成研修

平成29年8月に本社会議室において「京都高齢者あんしんサポート企業」の登録研修を受講し、同サポート企業として同年9月1日から京都府へ登録されました。

また、同年11月には認知症サポーター養成講座を開催し、従業員177名が養成講座を受け、「認知症の基本的な知識」や「認知症の人への対応の仕方」などを学び、認知症サポーターとして職場や地域での活動に活かしています。



京都高齢者あんしんサポート企業の養成研修



認知症サポーター養成講座

2. 養成研修受講者の感想

- ・わかりやすく楽しかった。
- ・ただ聞くだけでなく実践を通じ、相手の心を聞く態度が身につきました。
- ・認知症の症状・予防を学ぶことができ、とても有意義でした。
- ・将来の自分の姿かもしれないと思うと同時に、予防も含め周囲の認知症の方々や予備的な症状に対して、やさしく対応していきたい。

3. 具体的な事例

- ① 業務中に団地内の階段付近で80歳位の女性が立っておられ、気になり「どうかしましたか？」と尋ねたところ、女性は「家がわからないので困っている」とおっしゃいました。
認知症かもしれないと思い、警察に通報し、警察が到着するまで保護し、その後ご家族との連絡がとれ無事ご家族に引き渡す事が出来ました。
- ② 業務中にトボトボ歩く高齢の男性を見かけ、声をかけたところ「認知症」の方で、「自宅に帰りたい」とおっしゃいました。
そこで道をお教えすると、逆方向へ向かわれたため、警察に通報し保護していただきました。

4. 現在の取組みと今後の取組み

当社が管理している団地内の清掃作業中において、困っておられる高齢者の方を見かければ積極的にお声掛けさせていただきよう心掛けています。

また、社内にはキャラバンメイト（認知症サポーター養成講座講師資格者）も在籍しており、サポート体制も整い社内研修会を実施する事も可能です。

これからも、高齢者や認知症の方々が安心して暮らせる地域作りを目指し、一般社員教育に「認知症の人への対応」を取り入れ、団地以外の管理先様へも拡大を図ってまいります。

総務部 藤庭和彦

スームアップ



若手交流と調査・研究に注力

青年委員会の委員長となって一年が経ちました。委員会として大阪ビルメンテナンス協会や会員企業の皆さまのお役に立つことはまだまだ難しく、至らないところだらけですが、メンバー一同、業界の進むべき方向、協会の将来像構築などについて熱心に議論を行い、委員会活動を盛り上げようと、がんばっております。

青年委員会の活動の目的は、業界の若手育成や、将来、大阪ビルメンテナンス協会を担う人材の発掘、全国の仲間とのネットワークを広げることです。

なかでも各地の業界若手との交流の場を広げる活動を重視しています。2017年

には、大阪協会の青年部が主催して「西日本サミット」を開催しました。翌18年の熊本県でのサミットには青年委員会の3名が出席し、交流と情報交換を行いました。

西日本サミットについては様々な議論の末、開催の方法や目的を改めることにしました。中身の濃いサミットにするため、隔年開催とし、主催地の青年部や青年委員会で十分に準備・企画する時間を確保することにしました。19年は京都府での開催ですが、以降は1年おきの開催となります。

一方、全国規模の催しである「青年部ビルメンテナンス全国大会」には、各地から大勢参加し、業界の現状や改革の方向性などについて活発に意見交換をしています。交流の輪を広げることはもちろ

ん、ビルメンテナンス業界の若手でしかできないような新しい活動について議論することもたびたびです。情報交換の場としても、大変役に立ちます。

今後は、やはり年々厳しさを増す人材不足への対応が大きな課題となります。これまでの技能実習生に加え、留学生や特定技能者などの外国人雇用の枠が拡大する状況について、様々な視察や調査をもとに、外国人の方々の生活や人権に配慮した新しい雇用のあり方の研究を進めていきたいと考えています。

若手のフットワークを生かして、多くの新鮮な情報を収集し、協会や会員企業の皆さまに提供できるように努力していきます。業界でがんばる若手の方々、ぜひ青年委員会に参加してください。

(青年委員会委員長 梶山孝清)

30年度 第8回 理事会

2月8日(金) 協会会議室

1. 一般報告事項

①前回理事会議事録確認

2. 審議事項

①協会移転に伴う保証金等の支出について/承認

3. 報告事項

①全協報告

②委員会部会報告

③通常総会(5月30日)について

④事務局

・事業計画案と予算案作成について

・事業報告案について

4. その他

・今後の予定

委員会・部会

広報委員会

1月22日(火) 出席者9名 協会展示室

議案①「OBMマンスリー平成31年1月号」の編集作業について

議案②「大阪ビルメンエッセイ大賞」応募状況確認について

議案③ 広報委員会の来期事業計画について

2月18日(月) 出席者8名 協会展示室

議案①「OBMマンスリーVOL226」編集について

議案②「大阪ビルメンエッセイ大賞」選考方法について

議案③「絵画コンクール」展示方法について

議題④ 平成31年度事業計画&予算について

環境衛生委員会

1月21日(月) 出席者9名 協会会議室

○第七回環境衛生委員会

議案① 議事録確認

議案② 理事会報告

議案③ 施設見学会・実施要領について

議案④ 来年度の事業計画検討

青年委員会

1月16日(水) 出席者6名 協会展示室

議案① 技能実習制度について

議案② 外国人技能実習生にかかるコストについて

ビルクリーニング部会

1月25日(金) 出席者15名 協会展示室

議案① DVD試写について

議案② DVD訂正箇所について

議案③ 次年度テーマについて

議案④ DVD発表会について

設備保全部会

1月24日(木) 出席者9名 協会会議室

第6回設備保全部会

議案① 各小委員会活動報告

議案② その他報告事項確認

特別委員会

1月30日(水) 出席者8名 協会展示室

第12回特別委員会

議案1. 大阪協会移転について

議案2. 来期に向けて

「カラオケ大会」開催企画

訓練センターだより

●平成31年度ビル設備管理科訓練技能士コース(1級・2級)のご案内

・受付期間: ~3月15日(金) 必着

・訓練期間: 2019年4月1日~

2020年3月31日

・通信添削: 4月~10月(6回)

・集合訓練: 11月~2020年2月

(実技訓練3回/学科訓練3回)

・終了時試験: 2020年2月26日(水)

※詳細及び受講案内をご希望の方は、訓練センターホームページ(<https://www.bmtc.or.jp/>)からダウンロードをお願いします。

事務局からのお知らせ

●「KYT・危険予知訓練とリスクアセスメントセミナー」のご案内 労務委員会

・日時: 3月6日(水) 13時~17時

・会場: (一社)大阪ビルメンテナンス協会 4F研修室

・対象: 会員各社の労務担当者ならびに現場主任クラスの方

・定員: 20名(1社1名でお願いします。)

・受講料: 2,000円(消費税込)

・締切: お問い合わせください。

●「労務管理セミナー」のご案内 労務委員会

・開催日時: 3月4日(月) 13時~16時20分

(受付は12時30分から)

・会場: (一社)大阪ビルメンテナンス協会 6F研修室

・定員: 58名

・締切: お問い合わせください。

●「OBM会長杯ゴルフコンペ」のご案内 総務友好委員会

・日時: 4月10日(水)

・会場: 聖丘カントリークラブ

・定員: 8組(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

・プレー費: 15,950円キャディ付

・参加費: 10,000円

・締切: 3月11日(月)

以上、FAXにてご案内しております。

会員だより

●代表者変更

[賛助会員]

・装栄株式会社

(新) 取締役会長 平田 全様

代表取締役 山田 淳様

(旧) 代表取締役 佐々木 崇様

(平成31年1月25日より)

事務局よりお知らせ

当協会1階の「O b i t」は、移転に伴う準備のため、2月末にて閉鎖いたします。

長年ご利用いただきまして誠にありがとうございました。

講習会お知らせ

教育センターだより

(公財)日本建築衛生管理教育センター講習会予定

●貯水槽清掃作業監督者(再)

・受付期間 2019年2月21日(木)～3月6日(水)

・実施期間 4月8日(月)～9日(火)

4月15日(月)～16日(火)

●防除作業監督者(再)

・受付期間 2019年2月21日(木)～3月6日(水)

・実施期間 4月11日(木)～12日(金)

4月18日(木)～19日(金)

●空気環境測定実施者(再)

・受付期間 2019年3月5日(火)～18日(月)

・実施期間 2019年4月24日(水)～25日(木)

●空調給排水管理監督者(再)

・受付期間 2019年3月12日(火)～26日(火)

・実施期間 2019年5月9日(木)

●空気環境測定実施者(新規)

・受付期間 2019年3月14日(木)～28日(木)

・実施期間 2019年5月13日(月)～17日(金)

●貯水槽清掃作業監督者(新規)

・受付期間 2019年3月26日(火)～4月5日(金)

・実施期間 2019年5月21日(火)～24日(金)

●建築物環境衛生管理技術者

・受付期間 2019年3月26日(火)～4月1日(月)

・実施期間 2019年6月4日(火)～21日(金)

●防除作業監督者(新規)

・受付期間 2019年3月28日(木)～4月11日(木)

・実施期間 2019年5月27日(月)～31日(金)

☆いずれも阪急千里中央ビルにて

※申込期間中、早めにお申し込み下さい。

用紙のダウンロード・お申し込みは公益財団法人日本建築衛生管理教育センターへ。

(ホームページ <http://www.jahmec.or.jp/>、

T E L 06-6836-6605)

インフルエンザ

理事長 井 亨 樹

インフルエンザの大流行が続いています。厚生労働省は、全国約5千カ所の定点医療機関から報告された1週間(1月21～27日)の患者数が、1カ所あたり、57.09人だったと発表しました。前週(53.91人)からさらに増え、現在の調査方法になった1999年以降で最多を更新しております。

厚労省によると、全国の推計患者数は約222万6千人、年齢別では5～9歳が約41万1千人と最も多く、10～14歳も約29万人に上った。とありました。

私の娘の小学校でも学級閉鎖が出て、娘もインフルエンザにかかってしまいました。

また、定点1医療機関あたりの患者数は、全都道府県で「警報」レベルの30人を超えています。都道府県別では、埼玉が最も多く84.09人。次いで、新潟77.70人、千葉73.00人、宮城69.81人、神奈川67.94人と続く。東京は64.18人、愛知は61.82人、大阪は47.99人、福岡62.70人でした。

休校や学年・学級閉鎖をした保育所や幼稚園、小中高校は全国で8928施設になり、ウイルスのタイプは直近の5週間では、2009年に新型として流行したA型のH1N1が50%、A香港型が49%を占めています。

厚労省は「手洗いやせきエチケット、人混みを避ける」といった対策とともに、具合が悪ければ安静にして早めに医療機関を受診してほしい」と注意を呼びかけています。

インフルエンザは、高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化するおそれもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。インフルエンザの感染を広げないためにも引き続き、マスクや手洗いなどのインフルエンザ対策をしっかりとしていきたいと思えます。

私達のビルメンテナンスの仕事においてもスタッフ一人ひとりの体調管理に対する意識の重要性を改めて感じました。なぜならお客様の施設において、私達の担っている仕事がストップしてしまえば、不衛生な空間になってしまい、更なる被害拡大にも陥る可能性もあります。近年では清掃の重要性が大きくとりあげられるようになってきておりますが、ビルメンテナンスに従事するスタッフ一人ひとりが仕事の大切さを再認識していただきたいと思えます。

インフルエンザ予防 4つの基本

○外出後の手洗い・うがいは徹底

帰宅したらまず手洗い、うがいをするという習慣を身に付けることが重要です。

これはインフルエンザに限らず、その他の病気予防にも非常に効果的です。

万全を期すのであれば、手洗いとうがいをした後に入浴し、全身を洗い流すことでさらなる予防効果が期待できます。

○部屋の温度、湿度設定はしっかり!

インフルエンザウイルスは乾燥している空気が大好きです。

ウイルスの活動を活性化させないように加湿器などを使って室内温度や湿度を調整するようにしてください。

また、1～2時間おきくらいを目安に部屋の換気をするようにしてください。

○ウイルスに負けない免疫力・体力をつける

栄養バランスのよい食事を摂り、十分な睡眠時間を確保し、適度に運動をすることが大事。

インフルエンザウイルスに負けない体を維持、増進するように心がけることが大切です。

○混雑する場所ではできるだけ避ける

インフルエンザは空気感染、飛沫感染するので、できるだけ人混みは避けるようにしたいところです。

外出時にはマスクを付ける等の対策をして少しでも感染を予防できるようにしてください。

OBM行事予定

2月	25	月	ビル設備管理科訓練2級学科
	26	火	近畿地区定例/代議員会議 会員支援事業説明会
	27	水	ビル設備管理科訓練2級修了時試験
	28	木	選挙管理委員会 KKC警備員現任教育
3月	1	金	KKC貯水槽清掃作業従事者研修
	2	土	
	3	日	
	4	月	労務管理セミナー
	5	火	経営委員会 KKC警備員現任教育
	6	水	環境衛生委員会・施設見学会 KYT・危険予知訓練とリスクアセスメントセミナー③
	7	木	
	8	金	ビルクリーニング技能検定基礎級
	9	土	
	10	日	
	11	月	KKC設備積算管理講座
	12	火	KKC警備員現任教育 経営委員会 外部精度管理結果報告会(大阪健康安全基盤研究所)
	13	水	KKC清掃作業従事者研修
	14	木	設備保全部会
	15	金	ビルクリーニング部会DVD発表会 三役会議
	16	土	
	17	日	
	18	月	BCP(事業継続計画)講習会②
	19	火	公益・契約委員会
	20	水	広報委員会 設備保全部会研修・見学会(㈱モリタ三田工場)
	21	木	春分の日
	22	金	経営委員会講演会(新阪急ホテル) 臨時総会・理事会
	23	土	
	24	日	

労務委員会 労働災害事故事例 (H31年1月度発生分より)

1. 業務災害及び通勤災害数

- ①報告企業数 44件
- ②業務災害数 4件
[内 訳] 1ヶ月以上休業見込み 1件
15日以上休業見込み 1件
14日未満休業見込み 2件
- ③通勤災害 0件

2. 事故事例

- ①発生日時 H31年1月4日(金曜日)午後8時00分頃
- ②発生場所 和歌山県橋本市 スーパーマーケット
- ③年齢・性別 68歳 女性
- ④発生状況 専用フック棒を使ってリサイクルボックスのシャッターを閉じしようとしたところ、フック棒がシャッターより外れたため、勢い余って後ろに転倒、その際に支えた左手を負傷した。
- ⑤怪我の状況 左手首 骨折(ひび) 休業31日以上
- ⑥原因及び対策 フック棒が外れ、また体勢を安定させずに閉止作業を行ったため、反動で転倒した。シャッター操作時は、足元の状態や体勢も確認し、フック棒が外れることも予測して作業を行う。

KKCお薦め講習会(3月)

3月実施予定のKKC主催の講習会は下記のとおりです。
詳細は、随時会員企業様に郵送している開講案内、または、KKCホームページ(<http://www.bmkkc.or.jp/>)にてご確認ください。お申し込みは申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

●平成30年度〔後期〕警備員現任教育

警備業法で定められた教育です。教育当日、「教育実施証明書」を交付いたします。

- <日程> 第4回 平成31年3月5日(火)
第5回 平成31年3月12日(火)
- <時間> 午前9時～午後6時
(集合午前8時50分)
- <会場> 新清風ビル(中津)講習会場

●貯水槽清掃作業従事者研修

厚生労働大臣より登録を受けたKKCが実施し、修了者には「修了証書」を交付します。

- <日時> 3月1日(金)9時～17時
- <会場> 新清風ビル(中津)講習会場
- <対象> 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律(建築物衛生法)」第12条の2第1項第5号の登録を受けている事業所及び受けようとする事業所の従事者

●設備積算管理講座

設備保全業務の計数管理や、見積作成の考え方などを身につ

けていただくことをねらいに実施するものです。現場で長年管理監督をしている講師から、監督者としてのあり方や、業務を円滑に進めるために知っておくべき部下や顧客との対応の仕方などもお話いただけます。

- <日時> 3月11日(月)10時～16時30分
- <会場> 新清風ビル(中津)講習会場
- <対象> 設備保全業務の見積・契約業務等に関わる方や、現場の管理・監督者など計数管理に間接的に関わる立場の方など

●清掃作業従事者研修

厚生労働大臣より登録を受けたKKCが実施し、修了者には「修了証書」を交付します。

- <日時> 3月13日(水)9時～17時
- <会場> 新清風ビル(中津)講習会場
- <対象> 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律(建築物衛生法)」第12条の2第1項第1号及び8号の登録を受けている事業所及び受けようとする事業所の従事者

申込・問合せ：一般社団法人関西環境開発センター(KKC)
教育訓練部
電話：06-6372-9123
FAX：06-6450-8038
E-MAIL：bmkkc@swan.ocn.ne.jp
URL：<http://www.bmkkc.or.jp/>

編集雑感

石垣の思い出

私の故郷は丸亀である。うどん県(香川県)のほぼ中央部に位置し、11万人が暮らす市である。昨今テレビCMで「丸亀」をよく耳にするが、市内には同製麺の店はない。

丸亀が誇れるもの、それは何と言っても市のシンボル「丸亀城」である。私が城に興味を持つのは生まれ育った環境にあるのは間違いない。市の中心部「亀山」

という山の上に築かれた400年の歴史を誇る城であり、「現存天守(修復されながら現在まで残っている天守)12城」の一つである。天守は日本一小さい三重三階の造りとなっており、高さは約15メートルしかない。しかし下から眺めると荘厳な城に見えるのは、日本一の高さを誇る石垣があるからだろう。60メートル以上にもなる四段の高石垣は美しい扇のような曲線が特徴である。

石垣の老朽化はあったものの、2018年7月の西日本豪雨により、市民の誇り、心のよりどころであった石垣名城の石垣

崩落報道を聞いた。ニュース写真を目にし、あまりの被害の大きさに言葉を失った。目を覆いたくなる惨状だった。臉には通学時毎日見上げていた「扇の勾配」がくっきりと残っている。復旧には長い時間と多額の費用を要すると思うが、今はただ、あの優美でかつ堂々たる姿を早く取り戻せるよう微力ながら応援していきたい。

高校を卒業すると同時に故郷を離れたが、今でも故郷の心地よさは忘れられない。今の自分を育ててくれた故郷に感謝したい。(M. Y)